

平成18年6月2日

国際ロータリー第2640地区  
世界社会奉仕委員会 御中

海南東ロータリークラブ  
国際奉仕委員長 深谷政男

## 2005～2006年度 活動報告書 世界社会奉仕(WCS)

みだしの件につき、当クラブで実施したWCS(世界社会奉仕)活動について、下記の通り報告致します。

### 1) 活動内容 (実施国・日時・場所・対象等について報告書があれば別紙と記載し添付して下さい)

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 実施国      | フィリピン共和国                          |
| スポンサークラブ | R.I.D 第3860地区 マンダウエ・イースト ロータリークラブ |
| プロジェクト名  | 職業問題と教育環境の改善プログラム(IT教育支援)         |

#### 概要

フィリピンが抱えている貧困問題は、生活環境や人口問題、教育に至るまで、大きな影響を与えています。過去において、水対策や出産・健康管理、デイケアセンターなど取り組んできましたが、将来的な改善においては、まだまだ、不十分であり、貧困からの脱却に伴う、教育・就業といった人材育成が必要とされています。フィリピン・マンダウエ市では、貧困家庭が多く、市の財政も少ないことから、教育環境の整備が遅れており、学校設備も充実していません。また、親の子供に対する教育においては、目先の生活に追われる中で、将来に対する教育の考え方が乏しく、貧困から脱却できない等の悪循環に陥る問題を抱えています。このため、マンダウエ・イーストロータリークラブでは、将来の職業、ビジネスに活かせる技術の習得が急務であると考えており、行政やRCCと協力して、将来を見据えた子供に対する教育、特に今後の社会で重要となるIT教育に着目しています。

このため、今年度の計画は、相手先の要望もあり、IT教育を行うためのパソコン導入を進めました。現在、絶対数が不足しており、現地では、高額な装置となるため、貧困層の子供達へのIT教育の実現にはWCSの支援が必要となります。具体的には、1)日本の中古パソコンを現地の小学校等へ送り、設置し、IT教育を実施する 2)IT教室の設置、整備を行う 3)IT教育の実施にあたっては、現地のロータリアン、協力団体、組織で知識のある者が教育にあたる 4)親の子供達に対する教育目的、意欲の啓蒙を行うことを実施しました。

本年度も海南西RCと共同でロータリークラブのメンバー、IT企業組合、協会等で広く協力を呼びかけ、60台の中古パソコン集め、贈りました。

また、和歌山税関(無税)及び近畿経済産業局(輸出規制、産業廃棄物)の了解も得られ、同時にフィリピン側の受け入れについても問題なく手続きできました。

訪問日時 2006年3月2日～5日  
訪問メンバー 海南東RC 林孝次郎 花田宗弘 岩井克次 田村健治 寺下 卓

## 2) 活動結果 (反省や今後の目標などもあれば記載して下さい)

今回の活動については、現地の10カ所の小学校、中学校へパソコンを配分し、一応の成果はありましたが、絶対数が不足しており、次年度も引き続き支援を要請されました。このため、海南省など自治体、学校等の廃棄パソコンを確保し、継続できればと取り組みを行っています。

また、パソコンの収集、再整備、梱包、発送等については、時間と労力が必要で多くのメンバーの協力が不可欠であり、クラブ内での体制を整える必要があります。

別紙報告 PDFファイル添付